

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	自動車騒音常時監視事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	05	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内道路(常磐道・国道・県道・市道)	意図	生活環境の向上。
事業内容	流山市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施する。また、自動車騒音常時監視報告書および環境省への報告資料を作成するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度に国から権限移譲され、実施しているもの。実施に当たり、5年毎に変わる交通センサスの変更に対応していく必要がある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	面的評価基準値達成率（常磐道）	99.50	82.10	82.10	
②	面的評価基準値達成率（他）	92.50	92.70	91.60	%	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 ・平成30年度は守谷流山線（2.8km）、松戸柏線（0.8km）、白井流山線（1.9km）について、各評価区間の道路端から50mの範囲について住宅地図及び現地調査により、住宅等の状況を把握し取りまとめ、騒音評価を行った。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,291,000	2,260,400	2,272,556
事業費(b)(円)	918,000	918,000	954,156
うち一般財源	918,000	918,000	954,156
職員給与と費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善。	③取組における課題(Check)	法定受託事務となる常時監視委託だが、交通センサスの更新によるシステムの変更が課題である。
②H30に実施した取組(Do)	事務改善を行い経費の削減を図る。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	他の公害に係る事務事業の統合を検討し、計測機器やシステムの更新計画の見直しを図る。